(様式2)

「瀬戸玲子基金・女性のための地図振興支援助成事業」実施計画書

氏名(代表者)	両角みのり
生年月日、性別	1965 年 9 月 21 日 女性
所属など	非営利団体イタルジェオ・イマゴモンディ
実施テーマ	日・伊の子供たちによる地図作りワークショップの開催
研究グループ等の場合 は共同実施者(所属・役割分担なども)	十日町市: 姉妹都市交流協会副会長村尾隆氏を通して市役所、教育委員会への協力を要請中。またロータリークラブの協力も検討。 コモ市:ファミリアコマスカ(コモ側姉妹都市交流協会)及びロータリークラブバラデッロ代表ダニエレ・ロンコローニ氏の協力を得て実施。またコモ市副市長(教育担当)始め国際交流課担当タチアナ氏の協力を得ることで合意。ロータリークラブロンバルディア州のサポートを要請中。ワークショップ開催にあたってはアドバイザーとして大西宏治氏(富山大学)や国際子ども地図展担当常任委員会として東京理科大の伊藤氏、首都大の若林氏の協力を要請中。コモ市側は地理学者及び地図制作者のジョバンニ・デ・アゴスティーニ氏を予定。
	目的:
(調査研究・事業化の目	日・伊の子供たちによる「地図づくりワークショップを通した文化交流」を目指す。
的、調査研究・事業化	ワークショップでつくられた作品は 2025 年開催の ICA(国際
の実施スケジュール)	地図学協会)主催「バーバラ・ペチュニク子供地図展」参加のための世界地図展の作品として提出する予定である。現状: 日本の学校における地図づくりは教科である社会と密接に関わっていることによって、身近な地域をテーマにした地図づくりは地形図を利用したものが多い。今回のワークショップでは、広く、地球や世界、国を越えたテーマにした地図づくりを目指している。

実施場所:

イタリア コモ市(申請者の在住地)Fabio Filzi 校、Galio 校と日本の新潟県十日町市の川治小学校及び津南町の幼小中学校を主体とした地域を想定。

スケジュール:

2023年11月

両地区の教育委員会へ企画を提出すみ。

2023年12月

十日町市及び姉妹都市交流会との連携を図るため 12月5日に十日町へ出張し現地にて打ち合わせ。

十日町教育委員会へ説明し、**両地区の学校で実行委員会を** 決定。

日本地図学会の中に「子供による地図づくり専門部会」を作り日本側の地図作成支援に関するグループを作る

2024年1月~2024年2月

学校決定・ワークショップの具体的な実施スケジュールの調整を行う。ビデオコールにて日伊の連携を図る。

2024年3月

議会、教育委員会等、行政の支援の決定。

2024年4月-6月

ワークショップ実施

- 1. 6 歳未満
- 2.6~8歳
- 3.9~12歳
- 4. 13~15 歳
- の4部門で計8回のワークショップを想定。

ワークショップ開催場所として学校及び情報館集会室を 予定。

2024年7月

両国・両地域で作品展の開催

日本側の選定及び作品展は十日町市情報館のホールを使 用予定。

イタリア側はファミリアコマスカの本部を会場予定。(イタリアの学校スケジュールおよび夏休みの時期を考慮にいれて学校側との調整が必要。)

2025 年の ICC(国際地図学会議)に向けて作品の提出

研究・事業経費の実施計画								
採択金額	450,000 円							
研究·事業経費合	458,728 円							
計								
使用内訳								
設備 備品 費	消耗品費	旅費	謝 金 等	その他				
56,768 円	104,200 円	297,760 円	P	Ħ				

設備	消耗品費の明細					
設備備品費の明 品名・仕様 (数量×単価)		金額	品		金額	
			名			
Microsoft365		14,000	事務用品(コピー用紙、文		30,000	
Adobe プログラム使用料		42,768	具、印刷代)			
			事務用品(イタリア側)		15,000	
			展示会の為の輸送費			
			会場費(選考・作品発表会)		30,000	
			会場費(ワークショップ		18,000	
			@2h)			
					11,200	
旅費の明細		謝金等の明細		その他の明細		
事	金 額	事	金 額	額事		金額
項				項		
		項				
ガソリン代@3000	30,000					
(富山-十日町)						
旅費東京-十日町	152,460					
@13860						
宿泊費@12500	62,500					
イタリア交通費						
@110€∕月	52,800					